様式第４号

　　　　　　　年度　実験更新書および自己点検・評価報告書

茨城キリスト教大学

学長　　　　　　　　　殿

茨城キリスト教大学動物実験規程第６条１項ならびに第２４条１項の規程に基づき、次の通り報告します。

|  |
| --- |
| 提出年月日　：　　　年　　月　　日　 |
| 動物実験の課題名 |  |
| 承認番号　 | （承認年月日　：　　　年　　月　　日）　 |
| 実験実施（予定）期間 | 承認日　～　　　年　　　月　　　日 |
| 動物実験責任者 | 所属　：　　　　　　　　職位　：氏名　：連絡先：内線　　　　　・　メールアドレス　　　　　　　　　　 |
| １　年度内に実験内容の変更を行ったか。 | □なし　　□あり（ありの場合は、以下の項目を記入すること）[第１号様式を提出し、承認済みであること]□動物実験責任者の変更　□課題名の変更　□実験の目的の変更　□方法等実験の概要の変更　□使用動物種の変更(マウス・ラット以外)[第２号様式を提出し、承認済みであること]□動物実験責任者の変更　□使用動物(系統)の変更　□使用動物数の変更　□使用動物種の変更(マウス・ラット以外)□使用施設の変更　□麻酔薬等の種類・投与経路の変更　□その他 |
| ２　次年度以降に変更の予定があるか。 | □なし　　□あり（ありの場合は、以下の項目を記入すること）[第１号様式を提出し、承認済みであること]□動物実験責任者の変更　□使用動物(系統)の変更　□使用動物数の変更　□使用動物種の変更(マウス・ラット以外)□使用施設の変更　□麻酔薬等の種類・投与経路の変更　□その他[注：いずれの場合も動物実験計画等変更申請書（第２号様式）を提出が必要] |
| ４　総合的実験実施状況 | 総合的に見て実験を適正に実施できたか。□良好　　□概ね良好　　□不良　[理由　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| ５　動物の選択 | 使用動物及び系統は適正であったか。また動物を適正に用いたか。□良好　　□概ね良好　　□不良　[理由　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| ６　動物の使用数 | 動物種　　　：　　　　　　　　系統　：　　　　　使用予定匹数：前年度までの使用引数今年度使用匹数残数(注：使用匹数とは安楽死処分数、譲渡および自然死数等の合計) |
| ７　代替法の検討 | 代替法は検討したか。□検討したが、本実験計画が最適であると判断した。□検討したが、本実験計画の代替法は現在のところ存在しない。□検討していない　[理由　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| ８　動物数の削減 | 使用動物数(実験使用数)の削減に努めたか。□良好　　□概ね良好　　□不良　[理由　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| ９　動物の苦痛軽減および安楽死 | 動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。□良好　　□概ね良好　　□不良　[理由　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| 10　施設等の利用 | 動物実験施設および実験室を適正に使用したか。□良好　　□概ね良好　　□不良　[理由　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| 11　事故等（逸走・動物由来の咬傷、掻傷等）の発生状況および対応 | □なし　□あり（ありの場合は以下の項目も記入のこと）発生年月日：状況　　　：対応　　　： |
| 12特記事項 |  |

審査

|  |  |
| --- | --- |
| 審査終了年月日 | 　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 審査結果 | □特に問題なし　□下記の点に注意を要する。[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] |
| 修正意見等 |  |
| 承認記録欄 | 委員長　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

承認

|  |  |
| --- | --- |
| 承認年月日 | 　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 承認記録欄 | 学長　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |